

# 高槻市の地球温暖化対策に関する意識調査

市民のみなさまには、日頃から本市の環境行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケートは、今後の地球温暖化対策を進める際の参考とするため、住民基本台帳を用いて、無作為に抽出した2,000名の方に送付しています。

調査結果は統計的にのみ処理し、みなさまのお名前や回答内容が公表されることはありません。また、上記の目的以外には一切使用いたしません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートの取りまとめた結果については、令和2年6月頃に高槻市のホームページ上で公表する予定です。ぜひ、ご覧ください。

高槻市 温暖化アンケート

検索



令和2年3月 高槻市

## 【ご記入にあたってのお願い】

- ① 宛名のご本人が、わかる範囲でご記入ください。
- ② 質問ごとに、あなたのお考えに最も近い番号を ○ で囲むなどしてください。
- ③ ご回答いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れて、**3月30日（月）までに**ポストに投函してください。

◎アンケートに関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

高槻市 市民生活環境部 環境政策課

電話：072-674-7486(直通) FAX：072-661-3198

◎このアンケートは、高槻市が下記機関に委託して実施しています。

株式会社 総合環境計画

〒550-0012 大阪市西区立売堀一丁目3番13号 第三富士ビル

## あなたご自身についてお聞きします。

**問1.**あなたのお住まいの地域はどこですか。町名をお答えください。

( ) (例) 桃園町

**問2.**あなたの年齢はいくつですか。(あてはまる番号1つに○)

- |         |          |         |         |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代  | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |         |         |

**問3.**何人でお住まいですか。(あてはまる番号1つに○)

- |       |         |       |       |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 1人 | 2. 2人   | 3. 3人 | 4. 4人 |
| 5. 5人 | 6. 6人以上 |       |       |

**問4.**お住まいは、次のうちどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 持ち家の一戸建て | 2. 持ち家の集合住宅 |
| 3. 賃貸の一戸建て  | 4. 賃貸の集合住宅  |
| 5. その他 ( )  |             |

**問5.**お住まいの構造は、次のうちどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○)

- |        |              |
|--------|--------------|
| 1. 木造  | 2. 鉄筋コンクリート造 |
| 3. 鉄骨造 | 4. その他 ( )   |

**問6.**お住まいの建築時期はいつ頃ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 1970 (昭和45) 年以前
2. 1971～1980 (昭和46～55) 年
3. 1981～1990 (昭和56～平成2) 年
4. 1991～1995 (平成3～7) 年
5. 1996～2000 (平成8～12) 年
6. 2001～2005 (平成13～17) 年
7. 2006～2010 (平成18～22) 年
8. 2011～2015 (平成23～27) 年
9. 2016 (平成28) 年以降
10. わからない

## 地球温暖化問題への取り組み状況についてお聞きします。

**問7.** あなたは地球温暖化防止に関して、日常的に次のことを行っていますか。  
(以下の各項目で、それぞれあてはまる番号1つに○)

項目		行っている	時々行っている	今後行いたい	行うのが難しい	必要性を感じない	該当しない
見本	ア シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない	5	4	3	2	1	0
給湯	ア シャワーを使うときは、不必要に流したままにしない	5	4	3	2	1	0
	イ 給湯器を利用するときは、設定温度をなるべく低くする	5	4	3	2	1	0
	ウ 給湯器を利用しないときは、コントローラー（リモコン）の電源を切る	5	4	3	2	1	0
調理	エ 調理を行うときは、電子レンジで下ごしらえを行う	5	4	3	2	1	0
	オ 炊飯器の保温機能を極力使用しない	5	4	3	2	1	0
電気製品	カ 暖房の設定温度を、20℃以下にしている	5	4	3	2	1	0
	キ 冷房の設定温度を、28℃以上にしている	5	4	3	2	1	0
	ク 冷蔵庫に物をつめこみ過ぎないようにしている	5	4	3	2	1	0
	ケ トイレの暖房便座機能を冬以外は使用しない	5	4	3	2	1	0
	コ 家電製品は、省エネ効果の高い製品を選ぶ	5	4	3	2	1	0

項目は次のページへ続きます。



### 豆知識

#### 給湯器のリモコン

給湯器の電源が入ったままだと、ちょっとした手洗い時など、思っていないときにも給湯器が動作してしまうことがあります。また、給湯器のリモコンなどの待機電力は、5w以上のものもあります。

給湯器を使用しない時は、電源を切ることで、ガスと待機電力の削減になります。



### 豆知識

#### 電子レンジで下ごしらえ

野菜などの下ごしらえに電子レンジを使うと、時間短縮になり、ビタミンCの損失も抑えられます。

例：果菜（かぼちゃなど）を煮るとき

**生から茹でる**  
年間のガス代  
約 1,640 円  
(365日,1日1回)

**電子レンジを使う**  
年間の電気代  
約 410 円  
(365日,1日1回)

資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」

項目		行っている	時々行っている	今後行いたい	行うのが難しい	必要性を感じない	該当しない	
自動車	サ	自動車の利用を控え、バス・電車・自転車を利用する	5	4	3	2	1	0
	シ	自動車をゆっくり加速させるなど、燃費の良い運転を心がけている	5	4	3	2	1	0
省資源	ス	詰め替え可能な商品(シャンプー)などの環境に配慮した商品を購入する	5	4	3	2	1	0
	セ	ゴミを捨てるときは、ペットボトルや食品トレー、雑がみなどの種類毎に分別する	5	4	3	2	1	0
	ソ	マイボトルを持ち歩くなど、外出先でペットボトル飲料などを買わない	5	4	3	2	1	0
その他	タ	窓の断熱対策を行っている	5	4	3	2	1	0
	チ	電気・ガスの利用明細を確認し、省エネ意識を高めている	5	4	3	2	1	0

### 豆知識

#### 暖房・冷房の設定温度

##### ■暖房を1度低く

設定温度 21度 → 20度

年間の電気代 約 1,430 円節約  
(外気温度6℃, エアコン2.2kW, 1日9時間使用)

##### ■冷房を1度高く

設定温度 27度 → 28度

年間の電気代 約 820 円節約  
(外気温度31℃, エアコン2.2kW, 1日9時間使用)

※健康に配慮し、過度の節電は控えましょう。

資源エネルギー庁「家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬」

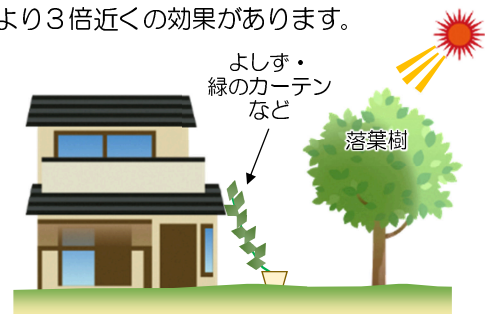
### 豆知識

#### 窓の断熱

冬は室内から逃げる熱の約58%、夏は室内に侵入する熱の約73%が窓などの開口部からと言われています。

冬は厚手のカーテンを床までつけることで保温効果が向上します。

夏は直射日光が入らないよう、よしずやブラインド、緑のカーテンなどで遮光しましょう。ブラインドなどを設置する場合は、窓の外側に取り付ける方が、内側より3倍近くの効果があります。



**問8.** 地球温暖化防止に役立つ再生可能エネルギー機器や省エネルギー設備について、ご自宅に導入されていますか。（以下の各項目で、それぞれあてはまる番号1つに○）

項目		すでに導入している	タイミングが合えば導入したい	安価になれば導入したい	導入するつもりはない	集合住宅または借家などで導入できない
見本	太陽光発電システム	5	4	3	2	1
ア	太陽光発電システム	5	4	3	2	1
イ	家庭用蓄電池	5	4	3	2	1
ウ	太陽熱利用システム（太陽熱温水器・ソーラーシステムなど）	5	4	3	2	1
エ	木質ペレットストーブ（オガ粉などを圧縮成形した固形燃料（木質ペレット）を燃料とするストーブ）	5	4	3	2	1
オ	二重窓や外断熱など、住宅の断熱化	5	4	3	2	1
カ	家庭用燃料電池（エネファームなど）	5	4	3	2	1
キ	ヒートポンプ給湯器（エコキュートなど）	5	4	3	2	1
ク	LEDなどの省エネ型照明	5	4	3	2	1
ケ	人感センサーつき自動照明	5	4	3	2	1
コ	エネルギー管理システム（HEMS（ハムス））	5	4	3	2	1
サ	ハイブリッド自動車・電気自動車などの環境性能の高い自動車	5	4	3	2	1

**豆知識**

**家庭用燃料電池**

電気を蓄え、必要時に使うことができる装置。太陽光発電と組み合わせて、昼間に蓄えた電気を夜間に用いたり、災害時の非常用電源として備えるなど幅広い活用ができます。

**HEMS（ハムス）**

家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」したりします。

**家庭用燃料電池（エネファームなど）**

燃料電池のしくみを使った自家発電システム。都市ガスなどから取り出した水素と、空気中の酸素を化学反応させて発電する仕組みです。発電時の排熱を使ってお湯を沸かし、タンクに貯めて給湯にも利用します。

電気もお湯もたくさん使う家庭に向いていると言われています。



**問9. 省エネルギー診断を受けたことがありますか。（あてはまる番号1つに○）**

1. すでに受け、省エネ対策等を行った（現在行っている）
2. すでに受けたが、省エネ対策等はまだ行っていない
3. いつか受けたいと思う
4. 受けるつもりはない



**豆知識**

**省エネルギー診断**

大阪府地球温暖化防止活動推進センターでは、「うちエコ診断」を実施しています。

これは、専門家が機器の使用状況等を診断し、省エネルギーのためのアドバイスをを行うものです。省エネ対策を実施した場合の光熱費の削減額なども知ることができます。

**問10. あなたは、地球温暖化問題に対して、どの程度、熱心に取り組んでいると自己評価していますか。（あてはまる番号1つに○）**

1. 非常に熱心に取り組んでいる
2. 熱心に取り組んでいる
3. やや熱心に取り組んでいる
4. 少しだけ熱心に取り組んでいる
5. 熱心に取り組んでいない

**電力の購入についてお聞きします。**

**問11. 電力の購入先を関西電力株式会社から、他社に切り替えましたか。（あてはまる番号1つに○）**

1. 切り替えた
2. 切り替えていない

**問12. 電力の購入先を選択するときに重要なことは次のうちどれですか。（3つまで○）**

1. 環境に配慮した電力であること
2. 価格が安価であること
3. 購入先の会社の規模・安定性
4. 電力購入以外の付加価値があること
5. その他（ ）

**自動車の使い方についてお聞きします。**

**問13、問14**は、ご家庭で自動車を所有されている方のみお答えください。  
所有されていない方は**問15**へお進みください。

**問13. あなたの世帯で、最も利用されている自動車の種類は次のうちどれですか。（あてはまる番号1つに○）**

1. ガソリン車
2. ディーゼル（軽油）車
3. ハイブリット車
4. プラグインハイブリット車（家庭用電源等から充電できるハイブリット車）
5. 電気自動車
6. その他（LPG車、燃料電池車等）
7. わからない

**問14. 問13で回答された自動車について、あなたの世帯では、その自動車をどの程度利用されていますか。年間の走行距離をお答えください。（あてはまる番号1つに○）**

1. 約（ ）km/年
2. わからない

## 地球温暖化対策のあり方についてお聞きします。

**問15.** 地球温暖化の影響で、不安に感じることはありますか。(3つまで○)

1. 海面の上昇による陸地の消滅や高潮被害
2. 異常気象による豪雨災害や水不足
3. 動植物の生息域の変化、絶滅など
4. 農作物の減収などによる食糧不足
5. 健康への影響（伝染病の拡大、熱中症など）
6. その他（ )
7. 不安に感じることはない

**問16.** 地球温暖化対策に対する考え方として、あなたの考えに近いものはどれですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 多少の不自由・負担があっても実践したい
2. 不自由・負担を伴わない程度なら実践してもよい
3. 特に不自由・負担がなくても、やりたくない
4. わからない

**問17.** 今後、あなたは地球温暖化問題に対して、どの程度、熱心に取り組みたいと考えていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 非常に熱心に取り組みたい
2. 熱心に取り組みたい
3. やや熱心に取り組みたい
4. 少しは熱心に取り組みたい
5. 熱心に取り組むつもりは全くない

**問18.** 地球温暖化対策や、地球温暖化に伴う被害を軽減するために、自らが取り組むべき事項について、特に必要だと思うものはどれですか。(3つまで○)

1. 家庭内でのこまめな節電や省エネ行動
2. 環境に配慮した商品の積極的な購入
3. 省エネルギー性能の高い電気製品などへの買い替え
4. 燃費の良い自動車への買い替え
5. 住宅の省エネルギー改修や、省エネルギー性能の高い住宅の購入
6. 再生可能エネルギー（太陽光発電システムや太陽熱利用システムなど）の導入
7. 自動車の利用を控え、公共交通機関や自転車の積極的な利用や徒歩での移動
8. リサイクルなど資源の有効利用
9. 身近な緑化活動
10. 地球温暖化対策に関する情報収集
11. 環境学習や環境イベントへの参加
12. 集中豪雨などの災害への備え（食料の備蓄、ハザードマップや避難所の確認など）
13. 熱中症の予防（適度な水分摂取、炎天下での外出抑制など）
14. その他（ )

